

ながくて未来図づくり一年間のふりかえり & 次の一歩へ向けてキックオフ交流会

平成30年3月31日

11

本日のプログラム

1. 1年間の振り返りムービー上映 【10分】
2. これまでの成果報告 【20分】
3. アイスブレイク 【25分】
4. 将来像(案)の感想を語ろう! 【30分】
5. 休憩 【15分】
6. 学生まちづくり甲子園結果報告 【10分】
7. 市民まちづくりプラン説明 【10分】
8. 交流会 【60分】

2

これまでの成果報告

3 3

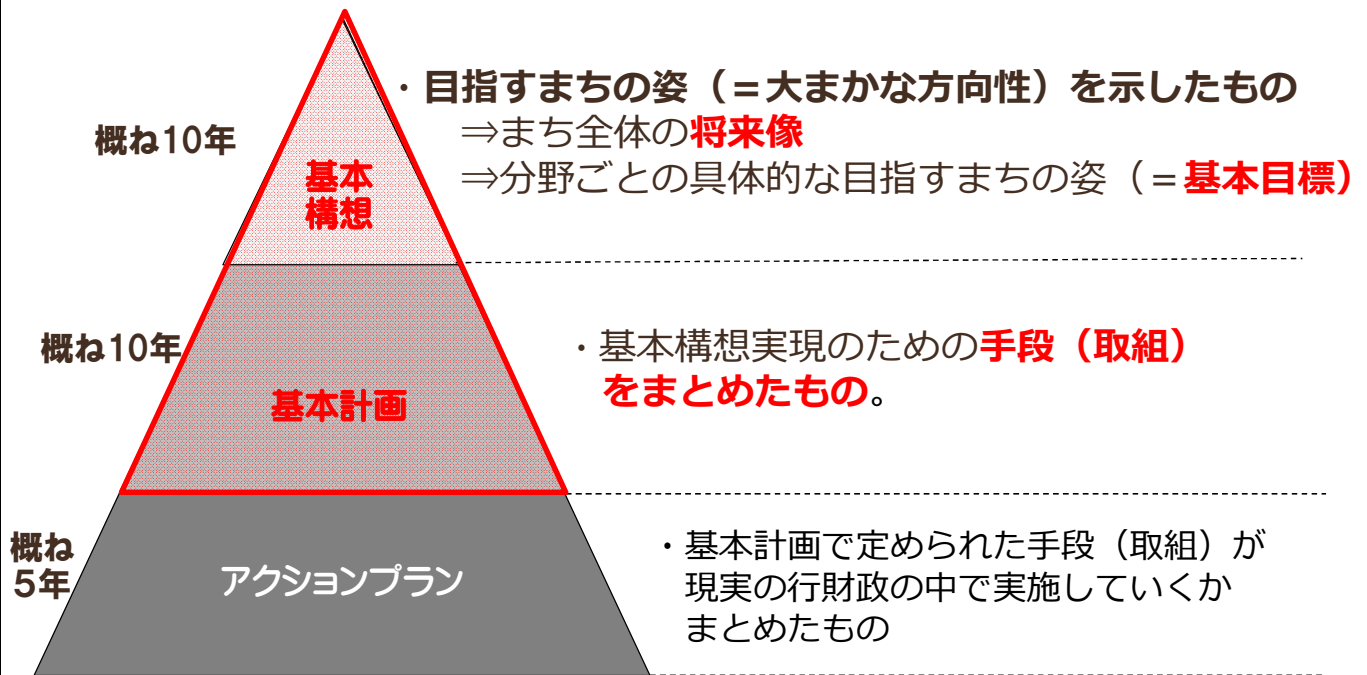
これまでの成果

この1年間、多くの方と「ながくて未来図」を
考えるワークショップを行ってきました！



4 4

みなさんからいただいた意見等を基に、 基本構想・基本計画を作成しています！



ながくて未来図づくりキックオフパーティー
Think Nagakute キャラバン

意見を「みんなの**思い集**」にまとめる

《分野》

- ・人づくり
- ・子ども
- ・自然環境
- ・生活
- ・交流
- ・都市経営
- ・市政運営

第1回～第3回テーマ別検討会議

分野ごとの2028年の理想の姿を
「ながくて未来の物語」にまとめる

基本構想
に反映

第4回～第5回テーマ別検討会議

ながくて未来の物語を
実現させるための
取組の方向性をまとめる

基本計画
に反映

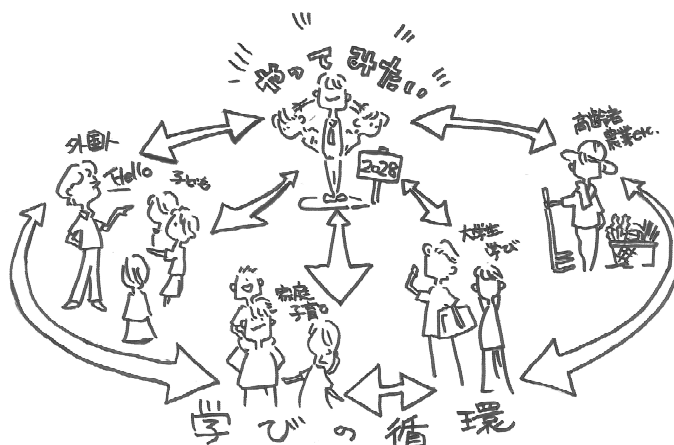
総合計画(ながくて未来図)基本構想

ながくて未来の物語

人づくり編



「やってみたい」でつながるまち



7

人づくり編 「やってみたい」でつながるまち

2028年。長久手に生まれ、長久手に育ち約21年が経った。長久手も随分発展したけど、私も長久手に随分「育ててもらった」感じがする。

小さいときから自分が住む「まち」に触れる機会は多かった。学校でも「まち」について学ぶことがあったし、「地域コミュニティ」という言葉は当時知らなかったけど、「自分たちの住むまちを、自分たちで良くしていこう」という意識を、なんとなく周りの大人達から感じていた。その影響もあってか、長久手には愛着があり、卒業後の「生き方」についても、ふるさと長久手のことを意識せざるを得ない。

私たちが生きる時代は、「人生100年時代」といわれているが、ここ長久手では、“働き直し・学び直し”ができる環境があり、いつでも、誰でも「やってみたい」が叶う仕組みが整っている。私の大学の先輩で、一度就職で長久手を出てから、また長久手で働き直している人がいるし、一度退職した女性が働き直すこともよくあると聞く。長久手でそのようなことが起こる理由の一つは、“働き直し・学び直し”の拠点があるからだ。地域共生ステーションや私が通う大学などの市内の学び舎が拠点となり、ここに、高齢者や障がいのある方、子ども、大学生、会社員、子育て中の夫婦、起業家、外国の人など、多様な人達が集まる場になっている。そこで、お互いの知っていることや得意なことを引き出し合いながら、時には教え、時には教えられる「学びの循環」が起きており、人が育ち、つながりも生まれ、コミュニティも育っている。

卒業後も愛着ある長久手に暮らし、「やってみたい」ことにチャレンジし、楽しみながら育っていこう。そして、今度は、私も、誰かを、長久手を育てていこう。

8

総合計画(ながくて未来図)基本構想

ながくて未来の物語

子ども編



子どもが元気に育つまち



9

子ども編 子どもが元気に育つまち

2028年。2歳と4歳と7歳。3人の子ども達と毎日楽しく暮らせている。

運動が得意な子、苦手な子、お話しするのが好きな子、苦手な子、本が読むのが好きな子、苦手な子、障がいがある子、ない子、それぞれが子ども達の大切な「個性」として受け入れられ、長久手の子ども達は、よく遊び、よく泣き、よく悩み、よく笑い、感性豊かに育つと友達から聞き、結婚を機に、隣町から長久手に引っ越してきたけど、その噂は本当だったみたい。

転出入の多いまちのせいか入ってくる人に対して地域の人が気にかけてくれるし、地域の行事に参加しているうちに、関係性が築けてきて、子育てを通じて自由な交流やつながりが生まれた。最初は、自分の子どもを人に預けることに抵抗があった私も、いざというときに、お互いに頼れるネットワークができた。地域の人と関わることに消極的だった私たち夫婦も、気付けばパパ友・ママ友ができ、情報交換や一緒に地域活動もしている。

働きながらの子育ては不安だったけど、家族の理解や支え合い、産み育てる環境の整備、困った時にふらっと気軽に相談しにいける場があり人がいるおかげで、何かあったときの心のよりどころになっているなあ。

親も地域の方もみんなが子どもたちをあたたかく見守り受け入れてくれていて「まち全体で子育てをしている」ような、そんな雰囲気があるから、きっと子ども達は自然の中で、まちの中で、のびのびとありのままに生きられ、感性が育っているんだと思う。そして、そんなまちで暮らす大人達も、のびのびいきいきと暮らしていると感じる。

「このまちで育った子どもたちはどんな大人になるのかな？」思わずそう考えてしまう大人は私だけでないはず。そんなまちってやっぱり素敵。

10

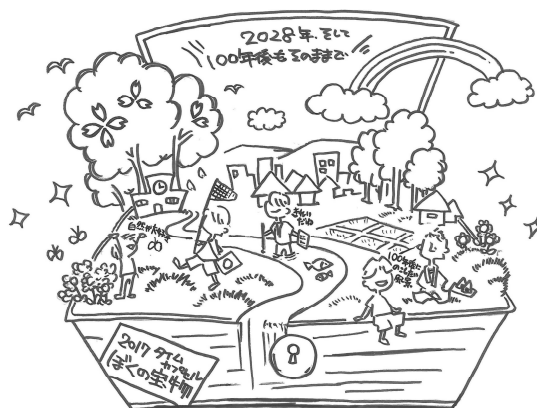
総合計画(ながくて未来図)基本構想

ながくて未来の物語

自然環境編



みんなでみらいへつなぐ みどりはまちの宝物



11

自然環境編 みんなでみらいへつなぐ みどりはまちの宝物

2028年。長久手に暮らして40年。私が生まれ育った長久手は今でも豊かな自然に恵まれている。自宅があるまちの西の方の都市部には、公園や街路樹など至るところに“みどり”があり季節を感じられる。まちの東の方では、田畑や里山があり、自然の雑木林の中では子どもたちが駆け回り、同じ市内にいながら自然を存分に感じられる。

私も参加しているが、香流川では、地域で清掃活動が行われとてもきれいだ。みんなこの川を愛し、カワセミが住みついていて、いろいろな生き物からも愛されている。中には田畑や自然を荒らしてしまう動物もいるけど、地域や行政で協力して対策をしながら、いろいろな生き物と共存している。

小さい頃は気付かなかったけど、こうして今でも、子ども達が雑木林を駆け回れたり、田んぼも里山も香流川も、美しく保たれているのは、その時代時代に、この自然を愛し守る人たちがいて、それを受け継ぐ人がいるからなんだ。休耕田になっていたようなところも、「みんなで受け継ぐ」という意識から、地域で協力して管理したり、若い後継者につないだりができてきているように感じる。

私も、このまちの宝物である美しい自然を守り、また次世代につないでいきたいと思っている。

今ある自然をほったらかしにするのではなく、「まちの宝物」として、人の手を入れながら、みんなで未来へ残していくという意識こそ、まちの宝物なのかもしれない。

12

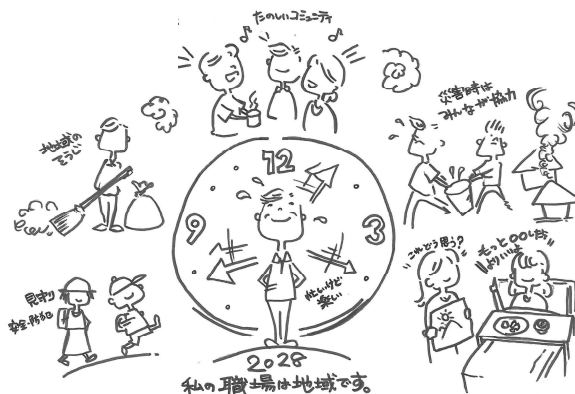
総合計画(ながくて未来図)基本構想

ながくて未来の物語

生活編



**みんながつながり、
誰もがいきいきと安心して暮らせるまち**



13

生活編 みんながつながり、誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

2028年。退職してから、もう5年になるかな。もしかしたら、仕事をしていたときより、働いているかもしれない。今の職場は、「地域」だけ(笑)

働いているときは、家と職場の往復だけだった。たまたま自治会長になったのをきっかけに、いざ退職して地域デビューしてみると、地域には、実にさまざまな「役割」があるもんだ。なかなか地域に出られなかった自分が、今では、いろんな人の「地域デビュー」のきっかけづくりの「役割」を担ってるなんてことを10年前の自分に言っても、きっと信じてもらえないだろうなあ(笑)

「役割」で言うと、長久手市では、生活する上で、誰かが困っていることを、家族でできることは家族で、地域でできることは地域で、行政がやらねばならないことは行政で、とうまく役割分担をしながら、解決できていると感じる。

「地域のみんなでできることはみんなでやろうよ」という意識が根付いているからか、世代や住んでいる年数も関係なく、地域のつながりも強く、まちでよくみかけるのは、ご近所さん同士のあいさつやおしゃべりだ。

日頃から声をかけあっているからこそ、犯罪からみんなの生活を守れていて、災害の際は、当たり前のように助け合う。ご近所さん同士のおしゃべりは、情報交換にもなっていて、一人暮らしの高齢の方や、体が不自由な人などで、最近見かけない人がいれば、様子を見にいたり、行政と連携して支援も行っている。

高齢化は進んでいるが、支援も充実しているし、何より地域に「役割」があるからおちおち家で寝とられん。だけど、おかげで私も友達もいつまでも元気でいきいきとする。「安心して暮らせるまち」に地域のつながりや役割が必要なんだな。

14

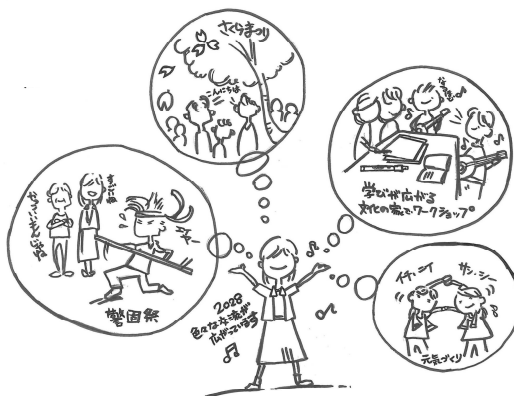
総合計画(ながくて未来図)基本構想

ながくて未来の物語

交流編



いつでもどこでもだれとでも 広がる幸せの和



15

交流編 いつでもどこでもだれとでも 広がる幸せの和

2028年。「やあ、おはよう！」私が登校するときは、いつもいろんな人が声をかけてくれる。

小さいときから、さくらまつりや夏まつり、伝統的な警固祭り等、いろんなイベントに参加する機会があったので、仲の良い大人の人もたくさんいる！会うと長久手の文化とか歴史の話とかをしてくれるんだ。おかげで顔見知りの人も増えてきていて、みんな気軽に声をかけてくれる。

今は中学生になって、友達同士や家族で、文化の家や図書館や古戦場公園等によく行くよ！この前は、友達と文化の家のワークショップに参加したり、古戦場公園で昔のことを勉強したり、家族で警固祭りを見に行ったりしたよ。楽しいイベントや場所がたくさんあるから、「今日はどこに参加しようかな」「だれを誘おうかな」って迷ってしまうほど。長久手市でやっているイベントやまちのオススメ情報なんかもホームページとかでたくさん発信されていて、長久手市に住んでいる人も住んでいない人もそれを見て情報を集めているみたい。実際に行った人がSNSで発信してたりして、長久手市の魅力がどんどん広がっていて、長久手に住んでいない人も住んでいる人もみんな楽しく交流できている気がする！長久手のことを知れば知るほど好きになるし、私ももっとたくさんの人に長久手のことを教えてあげたい！

中学からは部活を始めたから、運動もたくさんするんだけど、小さい子からおじいちゃんまでみんないろんなところで運動してるから私もやる気がする！

こうやって、気が向いたらいつでも、どこに行ったら、そこにいるだれかと、遊んだり運動したり、交流しながら暮らせて幸せ！

16

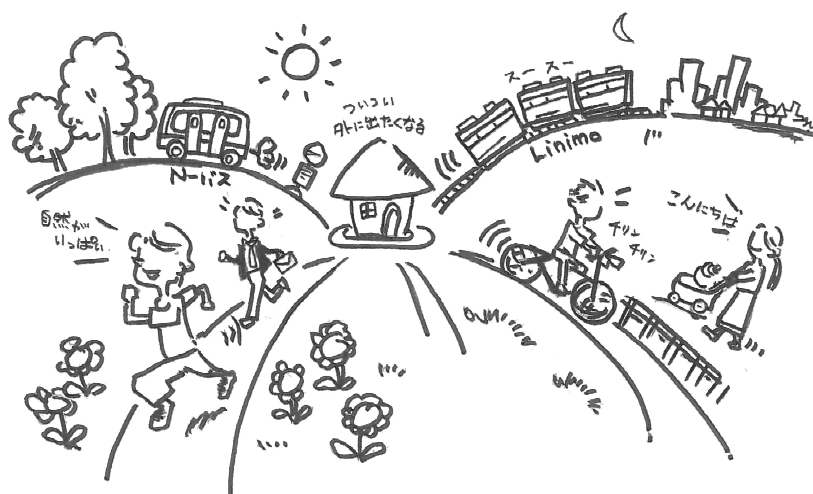
総合計画(ながくて未来図)基本構想

ながくて未来の物語

都市経営 編



あえて、歩いてみたくなるまち



17

都市経営編 あえて、歩いてみたくなるまち

2028年。私たち夫婦も高齢者になり、ちょっと運転に自信がなくなって、運転免許を返納してしまったんだけど、それでも長久手は住みよいまちだよ。

リニモやN-バスなどの公共交通やそれ以外の移動手段も整備されていて移動しやすいから、買い物や通院には困らないし、公共施設にもストレスなくいけてとても便利。大きな荷物を運ぶ時とかには、いつも気にしてくれているご近所さんが出かけるついでに車で送ってくれたりして助け合っている。

便利であると同時に、長久手では、自然も大切にされていて、住宅地といいバランスで共存している。市内の住宅地には、庭の手入れをする方が増えて、あちこちで会話の花が咲いているなあ。まちの至る所に緑があるし、ちょっと歩けば道に花が咲いていたり、遊歩道もある。自然を感じながらまちを歩くのは楽しいし、健康にも良い。隣の家族も週末になるとお子さんと一緒に自転車で出かけていて楽しそう。私の友人は車に乗っているけど、整備された公共交通や「自分で行けるところは歩いたり自転車に乗ったりして自分で行く」という意識が根付いているからか、何年か前に比べて渋滞も少なくなって快適だし安心！って言ってたな。

このまちは誰にとっても、「安心して」、かつ「楽しく」外に出るための整備が進んでいる。

楽しいことがあると思うと、ついつい外に出かけたくなる。そういった人が多いから、このまちは賑やかで、活気づいているのね！

18

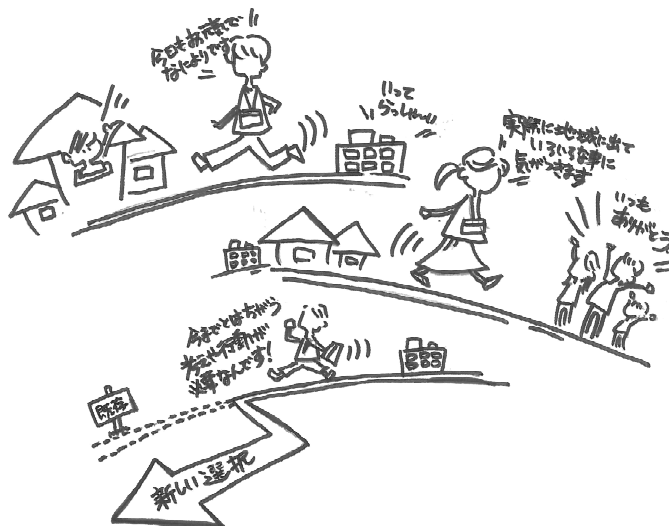
総合計画(ながくて未来図)基本構想

ながくて未来の物語

市政運営 編



職員が飛び出すまち



19

市政運営編 職員が飛び出すまち

2028年。今、私の勤める長久手市役所では、「まち全体が職場だ！」という意識が職員に根付いている。このまちは、いろいろな課の職員がまちに飛び出したり、既存の枠から飛び出したような施策に取り組んでいることから、「職員が飛び出すまち」と言われている。

いろいろな課の職員が、時間をつくって、意識的にまちに出てみたり、公共施設を回ったりしている。「○○さん！」と、まちで呼び止められることが多くなったね、よく同僚とも話している。逆に、たいした用事がなくても、市民の方が市役所に気軽に訪ねてくれるようになり、市民と「顔の見える関係性」が築けてきている。「課題は、現場にある」とよく言われるけど、こうしてまちに出たり、市民の方と話をすることで、課題も、その解決の糸口も見つかるのだあ、とまちに飛び出すようになってようやく気がついた。

また、真の問題解決には、従来のやり方や既存の枠にとらわれていたり、一つの課だけで対応しようとする、うまく行かないことが多いということも、まちに出て対話して市民と向き合うことで分かってきたことだ。既存の枠を飛び出し、自分の課を飛び出し、他課やそして他市町とも連携することの必要性にも気づけた。いろんな事に気付き、実践し、うまくいかないことに悩み、考え、そんな日々を過ごすうちに、どんどん長久手が好きになってきている。好きだからこそ、もっといいまちにするためにはどうすればよいか？を考え、積極的に業務を見直し改善に努めたり、もっといい職員になりたいと研修にも視察にも積極的に行くようになった。

「元気な職員がいるまちは元気になる！」そう信じて、今日も飛び出そう！

20

人づくり

大分類(政策)①地域共生を支える人づくり

- 中分類(施策)(1) 地域の担い手づくりの推進
- 中分類(施策)(2) 地域における活動拠点の整備と活用
- 中分類(施策)(3) 地域活動へ参加しやすい環境の整備

大分類(政策)②「やってみたい」が実現できる地域づくり

- 中分類(施策)(1) 若者の想いを支える仕組みづくり
- 中分類(施策)(2) 男女ともに意欲に応じて活躍できる地域づくり
- 中分類(施策)(3) 高齢者の役割と居場所の拡充
- 中分類(施策)(4) “やってみたい”を生み出し支える仕組みづくり

21

子ども

大分類(政策)①妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

- 中分類(施策)(1) 安心して出産できる環境の整備
- 中分類(施策)(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備
- 中分類(施策)(3) 子育て情報の整理と提供

大分類(政策)②子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり

- 中分類(施策)(1) 地域の子育てネットワークづくりの推進
- 中分類(施策)(2) 子どもたちの多様な個性を尊重する意識の向上

大分類(政策)③子どもの感性が育まれる環境の整備

- 中分類(施策)(1) 子どもの主体性が育つ機会の創出
- 中分類(施策)(2) 子どもが学びたいと思える環境の整備
- 中分類(施策)(3) 自然と共生する心が育まれる機会の創出

22

自然環境

大分類(政策)①万博理念を継承した自然との共生

- 中分類(施策)(1) 自然に愛着を持つ地域づくりの推進
- 中分類(施策)(2) 豊かな自然環境の保全
- 中分類(施策)(3) まちの緑化の推進
- 中分類(施策)(4) 水辺に親しめる環境の整備

大分類(政策)②農あるくらしの推進

- 中分類(施策)(1) 農にふれる機会の創出
- 中分類(施策)(2) 農の多様な担い手の育成

大分類(政策)③地球にやさしい持続可能な循環型社会の構築

- 中分類(施策)(1) くらしの低炭素化の推進
- 中分類(施策)(2) ものを大切にする循環型社会の構築

生活

大分類(政策)①地域の課題をみんなで解決する

- 中分類(施策)(1) 助け合い・支え合いの地域づくりの推進
- 中分類(施策)(2) 市民が気軽に相談できる場の周知・活用

大分類(政策)②元気にいきいきと暮らすことができる地域づくり

- 中分類(施策)(1) 生きがいのある暮らしの推進
- 中分類(施策)(2) 介護予防の推進
- 中分類(施策)(3) 運動による健康づくり

大分類(政策)③住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

- 中分類(施策)(1) 暮らしを支える生活基盤の充実
- 中分類(施策)(2) 福祉情報の見える化の推進
- 中分類(施策)(3) 交通安全・防犯の推進
- 中分類(施策)(4) 地域防災力の向上

交流

大分類(政策)①まちの資源を活かした市民同士の交流の促進

- 中分類(施策)(1) 歴史の次世代への継承
- 中分類(施策)(2) 文化・芸術によるまちづくりと交流
- 中分類(施策)(3) スポーツによるまちづくりと交流

大分類(政策)②観光交流まちづくりの推進

- 中分類(施策)(1) 観光交流スタイルの確立
- 中分類(施策)(2) 魅力が広がる情報発信の強化

都市経営

大分類(政策)①移動しやすい環境の整備

- 中分類(施策)(1) 公共交通の利便性の向上
- 中分類(施策)(2) 安心して移動できる環境の整備

大分類(政策)②暮らして心地よい生活環境の整備

- 中分類(施策)(1) 快適な生活環境の形成
- 中分類(施策)(2) 歩いて楽しい景観の形成

市政運営

大分類(政策)①柔軟な市政の運営

- 中分類(施策)(1) 飛び出す職員の育成
- 中分類(施策)(2) 挑戦しやすい仕組みづくり
- 中分類(施策)(3) 他自治体や民間企業との連携

大分類(政策)②市民から信頼される市政の運営

- 中分類(施策)(1) 将来を見据えた財政運営
- 中分類(施策)(2) 行政情報の見える化の推進
- 中分類(施策)(3) 公共施設の計画的な管理
- 中分類(施策)(4) 市民サービスの向上

27

市民のみなさん・職員で将来像について、 考えてきました

市民から出た意見

住みたいまち／暮らしやすいまち／戻ってきたいまち
／温かいまち／つながり／みどり／育む／ふるさと／共生

将来像の候補(案)の一部(テーマ別検討会議より)

- きづき、きずく。
- 手と手で創造 活緑のまち 長久手
- 一歩前へ、二歩未来へ。
- 育む“わ”～笑・和・輪・羽・話～
- けもの道をいく。
- 冒険の主役はぼくら ながくて未来図

職員から出た意見

つながり／みどり／幸せ／ふるさと／定住促進／物語があるまち

28

将来像の考え方

- ① 市民・職員から多く出たキーワードは、
「つながり」「みどり」「ふるさと」
- ② 市民と検討した候補案から
「これから新たにまちをつくっていく」とイメージできるもの。
- ③ 今までの総合計画からの積み上げを意識し、次のへ向かうためにふさわしいもの。
 - ・現状の課題を捉え、今後10年間で重視することを示す
⇒「つながり」づくり
 - ・5次までに培った基盤を活かす
⇒「みどり」を次世代へつなぐ
- ④ 今後10年も、多くの市民が**「幸せ」を感じられるまち**を目指す。

将来像(案)に込めた想い

本市は、名古屋市近郊の恵まれた立地を活かした良好な住環境の整備と同時に、開発と保全のバランスに配慮した「自然との調和」をまちづくりの方針と掲げ発展し、今でも、整備された市街地と自然豊かな田園風景とのバランスが保たれています。

今を生きる私たちは、この大事に育まれてきたまちを受け継ぎ、また次の世代へつないでいかなければなりません。しかし、約50年で急激に発展し、人口も5倍以上になり、人の入れ替わりも多いこのまちは、ともすると、地域のつながりも希薄で、愛着もない、そのようなまちになりかねません。また、今後本市にも訪れる超高齢・人口減少社会の到来や、大災害への対応のためには、市民のみなさんの力が一層必要になります。

先人たちが築いてきたまちを、次の世代、その次の世代にも愛着を感じてもらい、また、長久手に移り住んで来られた方にも、「ふるさと」と感じてもらい、住み続けてもらうためには、今のうちから「つながり」をつくり、「みどり」を次世代につないでいくことが重要となります。

人は、人との「つながり」がないと生きていけません。一人ひとりに役割と居場所があり、地域でつながり関わり合う中で、お互いに助け合い支え合える、あたたかく、幸せが実感できるまちにつながります。

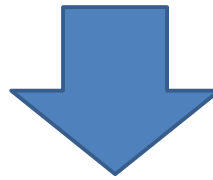
そして、「みどり」についても、先人達が残してくれた豊かな田園や里山の風景を残し、そして、まち全体をみどりあふれる潤いのあるまちにし、次世代へつないでいくことが重要と考えます。

以上の想いから、「つながりをつくる」そして、「みどりを次世代につなぐ」という強い想いを込めて、将来像の(案)を掲げます。

将来像(案)に込めた想い(要約)

長久手市は、良好な住環境の整備と同時に、「自然との調和」をまちづくりの方針として掲げ、バランス良く発展してきた！

しかし、急激な発展により、人口は5倍以上になり人の入れ替わりも激しい、このままだと、**地域のつながりや愛着が薄いまちになってしまう**かも。しかも、これから**超高齢・人口減少社会**がやってくる。



市民のみなさんの
力が必要！！

長久手に住んでいる人も、移住してくる人も、次の世代にも、まちに愛着を感じてもらい、このまちをみんなの「ふるさと」に！

そのために、必要なことは・・・

**「つながり」をつくり、
「みどり」をつないでいくこと**

331

つながり



一人ひとりに役割と居場所があり、地域でつながり関わり合う中で、お互いに助け合い支え合える、あたたかく幸せが実感できるまちに！

みどり



先人達が残してくれた豊かな田園や里山の風景を受け継ぎ、まち全体をみどりあふれる潤いのあるまちにし、次世代へつないでいくことが重要！

「つながりをつくる」、「みどりを次世代につなぐ」という強い想いをこめて将来像(案)を考えました！

332

将来像(案)

つながって！ひと
つないで！みどり
みんなで！はぐくむ ながくて

⇒この後、グループで感想を語り合います！

グループ分け

アイスブレイク

35

自己紹介

□ グループ全員で5分

□ 自己紹介

⇒名前・ニックネーム・所属

「春」といえば？

36

アイスブレイク

『紙をつかって、
高いタワーをつくらう！』



37

アイスブレイク

- まずはチームで5分で作戦会議！
- 作戦会議の後、5分でタワーを！
- 紙は折ったり、切ったりしてもOK
- 制限時間終了後、10秒間自立して、一番高いチームの勝ちです！

38

将来像について語ろう！

39

グループワーク

**「将来像について
感想を語ろう！」**



将来像(案)について、感想を模造紙に直接書き込みながら、話し合おう！

40

作業手順



将来像(案)の感想を語ろう！

親しみが
あっていいね！

長久手らしさが
でてる！

短いほうが
いいかも？

もう少し
分りやすいほう
がいいかな

41



ポイント

- 自由に感じたことを語り合いましょう！
- グループで一人記録係を決めてください！
- 「**3つの約束**」を必ず守ってくださいm(_ _)m

42

よりよい話し合い
のための約束

- ①まず、「傾聴」。
- ②言いたいことは簡潔に。
- ③人の意見を否定しない。

43

学生まちづくり甲子園 結果報告

44

「学生まちづくり甲子園」は、
未来を担う学生が“学生ならではの”の視点で、
長久手市の取組アイデアを考え、
発表する場です！

考えたアイデアは、
「総合計画」(ながくて未来図)の
市民まちづくりプランで
話し合いながら、実現を目指していきます！

第1回ワークショップ
10月28日



10年後に残したい
長久手の「宝物」は何
だろう？

第2回ワークショップ
11月25日



様々な人と話し、
アイデアを膨らま
せてみよう！

第3回ワークショップ
12月9日



取り組みアイデア
内容を深め、
発表の準備をしよう！

「甲子園」本番までに、
3回のワークショップを通じて、
取組アイデアを考えてきました！

本番直前の選手の様子



ぎりぎり
まで練習
しました！

甲子園
さながらの選手入場！
参加者100名超え！

選手入場



選手宣誓



プレイボール！



ながっぴーず (長久手高校1年生有志チーム)



●様々な人と一緒にプレーパークを自分たちでつくることで、自然から多くのことを学び、「自然」と「人」が共に育ち、育て合います！

49

栄徳高校生徒会チーム



●今ある自然を未来につなぐため、「長久手四季計画」と題して、長久手の自然の魅力を広めるためのイベントを季節ごとに実施します！

50

NUASBOYS (名古屋学芸大学デザイン学科)



● 学生たちの特技や知識をまちづくりに活かすため、
地域と学生をマッチングさせる学生組織「ボクラモ」を立ち上げます！

51

栄徳高校ボランティア部



● 高校生が中心となって、「長久手子どもつながり部」をつくり、
多世代のつながりや交流を生み出す取り組みを実施します！

52

Baby♡♡ (愛知淑徳大学子ども福祉学科チーム)



●親が子どもたちに愛(気持ち)を伝えられる親子参加型のイベントを実施したり、遊びを通して子どもたちが人権について学べる企画を実施します！

553

ちーむどなべ(学生団体Donabenet in あいち)



●誰もが好きな「食」をテーマにし、「食」+ α の取り組み(給食を一緒に食べる+地域の伝統料理を伝えるなど)を実施します！

554



審査員からの講評

会場(審査員・観覧客)の投票でベストアイデア賞が決まります!



ベストアイデア賞(優勝) NUAS BOYS!



第2位
栄徳高校生徒会チーム



第3位 Baby



私たちの考えたアイデアは
市民まちづくりプランの中で検討していきます。

実現していくためには、自分達だけではなく、
多くの方の協力が必要です。

みなさん、ご協力をお願いします！



市民まちづくりプラン について

59

市民まちづくりプランについて

市民まちづくりプランとは？

目指す未来に向かって市民のみなさんで取り組む内容をまとめたもの。

市民まちづくりプラン策定の目的

- ① 「まちに興味を持つ」市民を増やすきっかけとして！
- ② 「まちに関わる」市民を、「市民から」広げていくため！
- ③ 「市民主体のまちづくり」の指針として！

60

ではなぜ、 市民まちづくりプラン が必要なの？

61

今はまだ見えていない・見えにくい課題が、
今後の高齢化・人口減少に伴い、顕在化され
波のように押し寄せてきます…

超高齢化・人口減少

介護

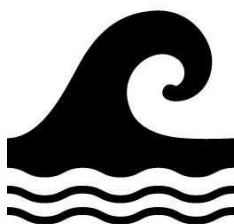
認知
症

孤立
死

税収
減

社会
保障
費増

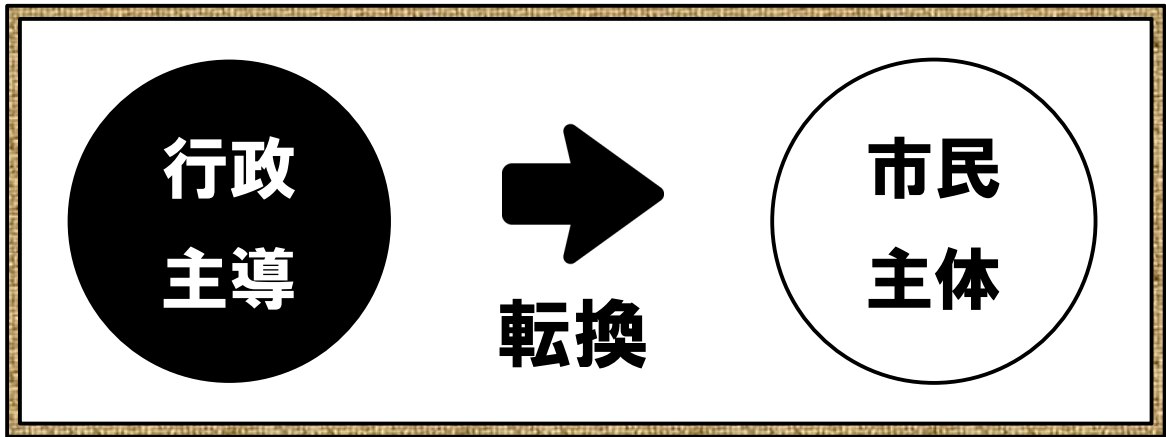
公共
施設
老朽
化



行政だけでは太刀打ちできない!!

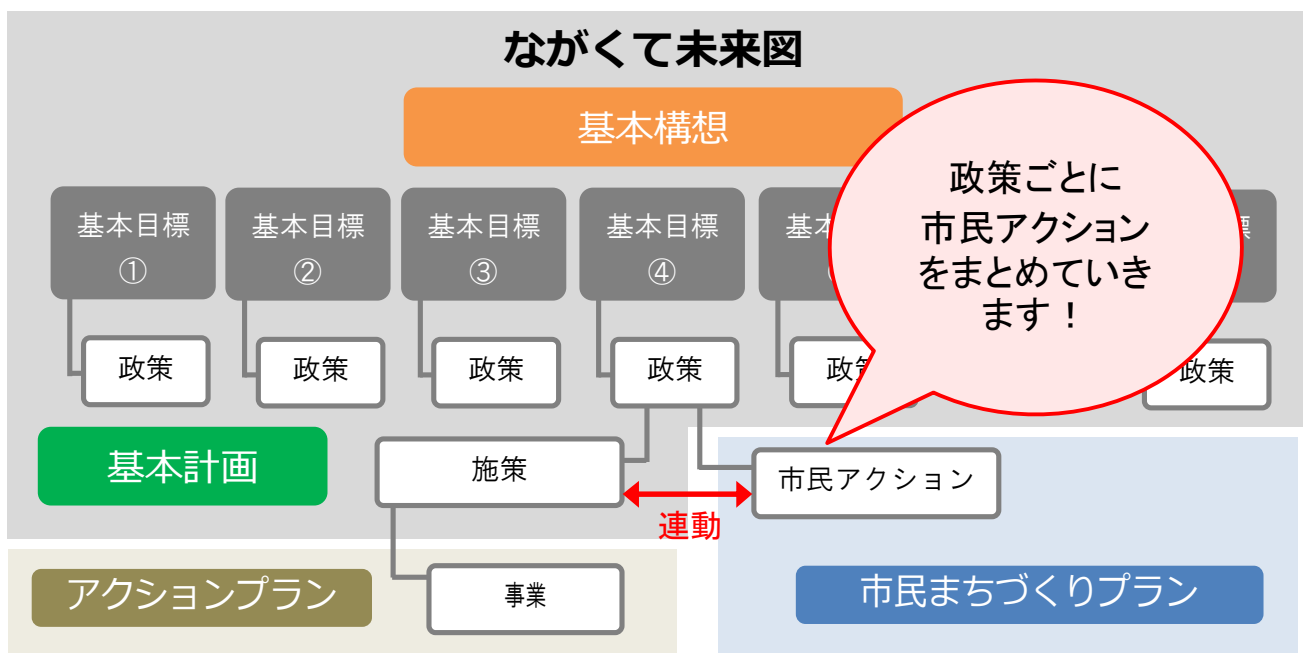
62

顕在化する諸問題へ対応していくため、
多様な市民の、多様なアイデアをまちづくりに活かす



「市民まちづくりプラン」を、
市民主体のまちづくり実現につなげたい！

市民まちづくりプランの位置づけ



例えば、こんな市民アクション！

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

政策② 「やってみたい」が実現できる地域づくり

地域と学生をマッチングさせる 学生組織「ボクラモ」の立ち上げ

- 大学生は日頃学んでいる知識や技術を試す機会が少なく、地域の様々な活動においても若者の参画が望まれている！
- そこで、地域と学生をマッチングさせる学生組織「ボクラモ」を立ち上げ、学生と地域がwin-winになる活動の橋渡しをしていく！
- 地域とのつながりを通じて、長久手市に親しみを持ち、大学生も(=ボクラモ)長久手市の一員としてまちに貢献していく！

例えば、こんな市民アクション！

基本目標2 子どもが元気に育つまち

政策① 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

産まれる前から「こんにちは」まで！

- 出産祝いとして、長久手市の子育てOB&OG編集による子育て大事典や、先輩ママ・パパからの子育て応援ブックを発行！

市民まちづくりプランについて(策定スケジュール)

第1回 4月22日(日)10:00~12:00

アイデア共有とチームづくり

- 今までのワークショップで出されたアイデアの共有
- やりたいアイデアを基にチーム編成

第2回 5月26日(土)14:00~16:00

プロジェクト化するアクションを固める

- チームごとに「プロジェクト化するアイデア」を選定

第3回 6月30日(土)10:00~12:00

「お試しアクション」に向けての準備

- アクションに必要な資源(モノ・コト)を検討
- お試しアクションの準備

お試しアクションの実施(7月~8月)

4回目以降は、進捗状況をみながら皆さんと相談しながら考えていきます⁶⁷!

交流会

交流会

『名前ビンゴ』で 交流を深めよう！



69

交流会

- ビンゴ用紙の真ん中に自分の名前を書こう！
- 他の人と交流しながら、他のマスに名前を書いてもらおう！
トークテーマ：「参加理由」「マイブーム」
- 全て埋まったらビンゴスタート！

70